

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

中津川市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岐阜県中津川市

3 地域再生計画の区域

岐阜県中津川市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は平成 7 年(1995 年)の 85,387 人をピークに減少しており、住民基本台帳によると、令和 4 年(2022 年)には 75,743 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、令和 42 年(2060 年)には、総人口が 52,033 人となる見込みである。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口(0～14 歳)は昭和 55 年(1980 年)の 19,454 人をピークに減少し、令和 4 年(2022 年)には 8,676 人となる一方、老年人口(65 歳以上)は昭和 55 年(1980 年)の 9,820 人から令和 4 年(2022 年)には 25,230 人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口(15～64 歳)も平成 2 年(1990 年)の 54,917 人をピークに減少しており、令和 4 年(2022 年)には 41,757 人となっている。

本市の自然動態をみると、出生数は平成 2 年(1990 年)の 800 人以降減少傾向にあり、令和 3 年(2021 年)には 434 人となっている。その一方で、死亡数は令和 3 年(2021 年)には 1,063 人と増加が顕著であり、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲629 人(自然減)となっている。

社会動態をみると、中山間地である本市は、働く場を求める等により若者の流出が続き、平成 2 年(1990 年)、平成 5 年(1993 年)、平成 6 年(1994 年)を除き、転入数が転出数を下回る社会減となっており、令和 2 年(2020 年)には▲320 人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少(自然減)や、

転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 将来を担う人材が育つまち
- ・基本目標 2 健康に暮らせるまち
- ・基本目標 3 温かい福祉のまち
- ・基本目標 4 地域の活力があるまち
- ・基本目標 5 いきいきと暮らせるまち
- ・基本目標 6 歴史文化に魅力があるまち
- ・基本目標 7 災害に強い安全なまち
- ・基本目標 8 きれいで豊かな自然を守るまち
- ・基本目標 9 働く場があり住み続けられるまち
- ・基本目標 10 便利に暮らせるまち
- ・基本目標 11 世界に向けて情報発信するまち
- ・基本目標 12 市外との交流が盛んで、訪れたくなるまち

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026年度)	達成に寄与 する地方版 総合戦略の 基本目標
ア	全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国比（小	小学校 6 年生 国語 - 5 %	小学校 6 年生 国語 ± 0 %	基本目標 1

	学校 6 年生は国語と算数、中学校 3 年生は国語と数学)	算数 - 5 % 中学校 3 年生 国語 ± 0 % 数学 - 3 %	算数 + 1 % 中学校 3 年生 国語 + 1 % 数学 + 1 %	
ア	不登校児童生徒の出現率	小学校1.54% 中学校4.81%	小学校1.2% 中学校3.8%	基本目標 1
ア	全国体力・運動能力調査における体力合計 T 得点	小学 5 年体力 テスト合計 T 得点49.6点 中学 2 年体力 テスト合計 T 得点50.1 点	50点以上（小学校 5 年と中学校 2 年の合計 T 得点）	基本目標 1
ア	複式学級のある学校数	3 校	1 校	基本目標 1
ア	年度当初保育園待機児童数	0 人	0 人	基本目標 1
ア	中津川市幼児教育・保育施設 適正配置計画の進捗	公立園数20園 (幼稚園 5、 保育園14、こ ども園 1)	13園 (幼稚園 1、 保育園 4、こ ども園 8)	基本目標 1
ア	支援事業による成婚数	2 組	4 組	基本目標 1
ア	子育て環境、支援の取り組み に満足している人の割合【市 民意識調査】	54%	58%	基本目標 1
ア	放課後児童クラブ待機児童 数	0 人	0 人	基本目標 1
イ	市民の健康寿命	男79.9歳 女84.5歳	男81歳 女86歳	基本目標 2
イ	人口10万人当たり75歳未満 のがん死亡率（年齢調整死亡 率）	124.5	120	基本目標 2

イ	健康づくりに取り組む人の割合【市民意識調査】	79.9%	84%	基本目標 2
イ	地域医療の取り組みへの満足度【市民意識調査】	44.0%	48%	基本目標 2
イ	公立病院常勤医師数	54人	50人	基本目標 2
イ	累積欠損金比率の改善【市民病院】	93.2%	84.3%	基本目標 2
ウ	中津川市が暮らしやすいと感じている70歳以上の市民の割合【市民意識調査】	75.9%	77.5%	基本目標 3
ウ	高齢者福祉・介護への満足度【市民意識調査】	51.7%	56%	基本目標 3
ウ	65歳以上75歳未満の要介護認定率	3.13%	3.05%	基本目標 3
ウ	要支援・要介護認定者のサービス利用率	87.5%	90%	基本目標 3
ウ	子どもが虐待を受けていると疑われるとき、市役所、児童相談所、警察に連絡できると回答した人の割合【市民意識調査】	66.6%	71%	基本目標 3
ウ	発達支援センター利用者の保護者の満足度【アンケート調査】	91.1%	95%	基本目標 3
ウ	子育て環境、支援の取り組みに満足している人の割合【市民意識調査】	54%	58%	基本目標 3
ウ	中津川市の障がい福祉サービスに安心している人の割合	48.7%	53%	基本目標 3

	合【障がい者福祉に関するアンケート調査】			
ウ	福祉施設から地域生活への移行者数	2人	3人	基本目標3
ウ	地域で支えあいができているまちと感じる人の割合【市民意識調査】	57.8%	62%	基本目標3
ウ	就労に向けた自立支援プランで就労に至った割合	33%	50%	基本目標3
エ	地域活動、自治会活動に参加している人の割合【市民意識調査】	66.1%	70%	基本目標4
エ	自治会への加入世帯割合	72.5%	70%	基本目標4
エ	地域づくり活動継続団体数	149団体	160団体	基本目標4
エ	域学連携関係人口（活動延べ人数）	1,132人	3,000人	基本目標4
エ	男女共同参画の推進がされているまちと感じる人の割合【市民意識調査】	45%	49%	基本目標4
エ	人権が尊重されていると感じる市民の割合【市民意識調査】	58.2%	62%	基本目標4
エ	小中学生の人権尊重への理解度【人権の花運動調査結果の割合】	84%	90%	基本目標4
エ	市民1人あたりの公共交通年間利用回数	6.7回/人	6.7回/人以上	基本目標4
エ	バス路線沿線地区内の高校生バス通学割合	25.3%	25.3%以上	基本目標4

オ	市民一人あたりの年間公民館利用及び講座受講回数	1.87回	3.55回	基本目標 5
オ	市民一人あたりの年間図書貸出冊数	3.1冊	4.5冊	基本目標 5
オ	週 1 回以上のスポーツ実施率【市民意識調査】	34.7%	65%	基本目標 5
オ	夢の教室開催後に夢を持つ大切さを実感した率	73%	75%	基本目標 5
カ	伝統芸能団体後継者育成人数	8団体 187人	14団体 331人	基本目標 6
カ	指定文化財の件数	287件	292件	基本目標 6
カ	文化施設等来場者数	184,867人	440,000人	基本目標 6
キ	緊急輸送路耐震化率(緊路耐震橋梁数／緊路橋梁47橋)	95%	97%	基本目標 7
キ	総合防災訓練を実施した自主防災会の率	91%	100%	基本目標 7
キ	災害対策の取り組みへの満足度【市民意識調査】	50.9%	55%	基本目標 7
キ	市内住宅耐震化率	93%	96%	基本目標 7
キ	一般市民による応急手当実施率	5.1%	5.5%	基本目標 7
キ	救急救命士の搭乗率	99.9%	99.9%	基本目標 7
キ	条例定数に対する消防団の充足率	87.9%	90%	基本目標 7
キ	市内事業者の消防設備の充足率	97.9%	98.6%	基本目標 7
キ	住宅火災警報器設置率	85.3%	88%	基本目標 7
キ	特定空家の解消率（R 8 年度評価 解消数／発生数）	87.5%	100%	基本目標 7

キ	刑法犯認知件数	202件	192件	基本目標 7
キ	市内特殊詐欺認知件数	4 件	3 件	基本目標 7
キ	交通事故死者数(24時間以内)	1 人	1 人	基本目標 7
キ	市内の交通弱者の交通事故死傷者数(歩行者・自転車利用者)	5 人	5 人	基本目標 7
ク	自然環境保全活動参加者数	1,070人	1,000人以上	基本目標 8
ク	河川環境基準(BOD)達成率(市内9地点)	100%	100%	基本目標 8
ク	汚水処理人口普及率	86.3%	89.9%	基本目標 8
ク	水洗化率	87%	89.5%	基本目標 8
ク	市民(家庭)の再生可能エネルギー設備等の導入による温室効果ガス削減量	6,130 t (CO ₂)	7,418 t (CO ₂)	基本目標 8
ク	総ごみ排出量	25,852 t	25,482 t	基本目標 8
ク	ごみの資源化率	15%	21.09%	基本目標 8
ク	メモリアル施設の建設地の決定数	0 箇所	1 箇所	基本目標 8
ケ	市内製造業事業所従業者数	12,494人	12,500人	基本目標 9
ケ	市内製造品出荷額	4,380億円	4,380億円	基本目標 9
ケ	中心市街地の1日当たりの歩行者交通量	3,200人	6,557人	基本目標 9
ケ	創業件数(中心市街地区域内)	6 件	10 件	基本目標 9
ケ	空き店舗件数(中心市街地区域内)	20件	15件	基本目標 9
ケ	市内商業総売上高	131,253百万円	131,253百万円	基本目標 9

ケ	農地の集積面積	879.8 h a	1,000 h a	基本目標 9
ケ	遊休農地面積	64.2 h a	59.2 h a	基本目標 9
ケ	認定農業者数（総数）	128人	133人	基本目標 9
ケ	青年等新規就農者数	10人（令和元 年度から令和 3年度累計）	12人（累計）	基本目標 9
ケ	主要品目の販売額	433,160千円	480,000千円	基本目標 9
ケ	市補助制度を用いた産直住 宅棟数	59棟	60棟	基本目標 9
ケ	森林環境譲与税を活用した 森林整備面積	44 h a /年間	50 h a /年間	基本目標 9
ケ	市補助制度を用いた新規林 業従事者数	4 人/年間	5 人/年間	基本目標 9
ケ	展示会等出展による商談成 立件数	17 件	20件	基本目標 9
ケ	市内畜産農家の肉牛出荷頭 数	1,446頭/年間	1,532頭/年間	基本目標 9
コ	道路・橋りょう・河川護岸等 の新設・改良等に対する取り 組みの満足度【市民意識調査 】	45.1%	49%	基本目標10
コ	土地区画整理事業の整備率	9.7%	83.7%	基本目標10
コ	国土調査事業進捗率	44.43%	46.04%	基本目標10
コ	水道施設耐震化率(管路)	14.4%	17.1%	基本目標10
コ	水道有収率	71.6%	85%	基本目標10
コ	移住者を受け入れやすいま ちと感じる人の割合【市民意 識調査】	54.0%	58%	基本目標10
コ	公営住宅等への入居待ち世	0 世帯	0 世帯	基本目標10

	帯数			
サ	中津川市に誇りや愛着を感じている人の割合【市民意識調査】	76.3%	80%	基本目標11
サ	観光入込客数	268万人	555万人	基本目標11
サ	誘致した企業の数（本社機能を有する事業での企業立地奨励金交付事業者数）	1社	4社（累計）	基本目標11
サ	企業立地・雇用対策の取り組みに満足している人の割合【市民意識調査】	33.8%	38.0%	基本目標11
サ	新規創業件数（創業支援等事業により市内で創業した件数）	47件	28件	基本目標11
サ	支援制度等を利用した移住者数	421人	480人	基本目標11
シ	観光入込客数	268万人	555万人	基本目標12
シ	宿泊者数	88千人	179千人	基本目標12
シ	1人当たり観光消費額	5,172円	6,000円	基本目標12
シ	中学生海外派遣研修への応募者数	0人	30人	基本目標12
シ	交流事業参加者数	0人	30人	基本目標12

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する

特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

中津川市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 将来を担う人材が育つまち事業
- イ 健康に暮らせるまち事業
- ウ 温かい福祉のまち事業
- エ 地域の活力があるまち事業
- オ いきいきと暮らせるまち事業
- カ 歴史文化に魅力があるまち事業
- キ 災害に強い安全なまち事業
- ク きれいで豊かな自然を守るまち事業
- ケ 働く場があり住み続けられるまち事業
- コ 便利に暮らせるまち事業
- サ 世界に向けて情報発信するまち事業
- シ 市外との交流が盛んで、訪れたいまち事業

② 事業の内容

ア 将来を担う人材が育つまち事業

「子どもは未来の中津川のまちづくり人」という子育て理念に基づき、子どもたちの「よりよいひとりだち」を願い、心身ともに「たくましい子の育成」を目指した教育を進める事業、家庭や地域の教育力の向上を目指し、学校・家庭・地域が連携して、社会全体で子どもたちを健やかに育て、将来の地域やまちづくりを担っていくことができる人材を育てる事業

【具体的な事業】

- ・学力アッププログラムの実践
- ・中津川市幼児教育・保育施設適正配置計画の実施による適正な人員配置の推進
- ・切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策 等

イ 健康に暮らせるまち事業

誰もが健康で暮らせるよう、生活習慣病の発症と重症化を予防し、ラ

イフステージごとの健康状態を改善する事業、かかりつけ医制度を定着させ、民間医療機関と公立病院の役割分担・連携により地域格差なく安心して医療が受けられる環境を作る事業

【具体的な事業】

- ・ 特定健診の実施
- ・ アプリ等を用いたウォーキングの推進
- ・ 訪問による開業医と市総合病院の連携の強化
- ・ 医療職員（看護師、薬剤師等）を目指す学生の修学支援 等

ウ 温かい福祉のまち事業

誰もが地域や家庭で安心して暮らすことができるよう、一人ひとりにあったサービス・支援を提供し、年齢、障がいの有無に関わらず、多様な交流が行われ、楽しさや生きがいの実感をつくりだす事業

【具体的な事業】

- ・ 介護予防教室の実施
- ・ ひとり親家庭への各支援制度等の情報提供と相談支援体制の強化
- ・ 障がい者が自立した日常生活・社会生活を送れるよう地域生活支援サービスの提供
- ・ 生活困窮者に対する関係機関と連携した自立支援プランの作成、継続的な自立に向けた支援の実施 等

エ 地域の活力があるまち事業

市民に身近な地域に関心を持たせ、誰もが活躍でき、開かれたコミュニティをつくりだす事業、交通弱者も不安なく過ごせる地域公共交通を整備する事業

【具体的な事業】

- ・ 自治会等の自主的な活動と人材育成を支援するための研修、学習会等の実施
- ・ 大学教授等が地域に入り、課題解決に取り組む、地域づくり型生涯学習事業の実施
- ・ 人権啓発リーフレットの配布
- ・ 公共交通網の利用促進 等

オ いきいきと暮らせるまち事業

子どもから高齢者まで、誰もが生涯学習・読書やスポーツ活動に主体的に参加・参画しながらいきいきと暮らせる環境をつくる事業

【具体的な事業】

- ・ I C Tを活用した図書サービスの展開
- ・ 人づくり・生涯学習の拠点施設として、公民館を整備
- ・ 誰もがスポーツ活動に取り組めるよう、ライフステージに応じたスポーツ教室を開催 等

カ 歴史文化に魅力があるまち事業

歴史や文化、伝統芸能の魅力を発信し、住む人々の郷土愛を育む事業、文化芸術に親しみ、自主的で活発な文化活動が行える環境をつくる事業

【具体的な事業】

- ・ 指定文化財の保護・保存、管理、活用
- ・ 地域ゆかりの画家の作品を多くの市民に観てもらう機会の創出
- ・ 自然科学を中心に据えた教室等の開催
- ・ 文化芸術活動の発表の場、鑑賞の場としての施設の管理 等

キ 災害に強い安全なまち事業

防災・消防・防犯体制が整備されていて、市民が安全に安心して暮らせるまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・ ハザードマップを随時更新し、全戸配布及び市ホームページにより公開
- ・ 消防救急救助活動に必要な資機材等の整備
- ・ 地域安全ボランティアと連携した防犯パトロールの実施
- ・ 交通安全運動の実施 等

ク きれいで豊かな自然を守るまち事業

再生可能エネルギーの活用やごみの減量化・再資源化、下水道の適切な維持に取り組むことで美しい自然を守る事業、森林や農地の多面的機能が発揮される里山を整備し、多様な生態系を有する豊かな自然環境と共生する事業

【具体的な事業】

- ・河川、森林に係る環境教育の実施
- ・再生可能エネルギーの導入に対する補助制度による家庭等での普及推進
- ・3R（発生抑制・再利用・再生利用）や食品ロス削減等の普及啓発を推進し、家庭からのごみを減量
- ・市有墓地の維持管理 等

ケ 働く場があり住み続けられるまち事業

市内産業の経済活動が活発で、市内企業、新たな企業進出、起業により、若者をはじめ高齢者まで、多様な職種の働く場所が確保され、生涯働けるまちをつくる事業、農林業と製造業、商業・サービス業、観光産業等の市内産業のつながりによる相乗効果で、地域内の経済循環を活発にする事業、リニア開業という千載一遇のチャンスを生かし、世界に向けた情報発信や連携への積極的な取り組みを進める事業

【具体的な事業】

- ・市内事業所の人材育成に向けた取り組みを支援
- ・空き店舗活用、創業・第2創業に対する補助
- ・新規就農者、後継者への就農及び営農定着を支援
- ・新規林業従事者の就業の支援
- ・石材業や木工業をはじめとした地場産業の振興を図るため、販路拡大への支援の実施 等

コ 便利に暮らせるまち事業

適正規模の基盤整備が図られ、秩序ある開発により、計画的に土地利用が進む便利なまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・市民生活に欠かすことのできない生活関連道路の整備
- ・老朽管路更新（漏水多発地帯を優先とした老朽管の更新工事）
- ・空き家情報バンクの運営 等

サ 世界に向けて情報発信するまち事業

世界に向けてシティプロモーション（まちの魅力発信）が積極的に行

われ、最先端技術を有する企業や学校にとって「進出したい」と思われるまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・市公式インスタグラム（nakatsutrip）を活用した情報発信
- ・企業の本社機能や研究開発機能等の誘致につなげ、多様な業種・職種の働く場の創出
- ・移住希望者等へ定住ポータルサイト等による中津川市の魅力発信（PR）等

シ 市外との交流が盛んで、訪れたいまち事業

地域資源の魅力を磨き上げ、広域連携により市外との交流を盛んにする事業、観光資源を生かし、来訪者をおもてなしする事業

【具体的な事業】

- ・周辺自治体等と連携した周遊ルートの構築及び情報発信
- ・民間事業者や旅行会社と連携した体験プログラムの造成、周遊ルートの構築
- ・ゆかりのある自治体との姉妹都市交流の実施等

※なお、詳細は中津川市総合計画後期事業実施計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

9,800,000 千円（2023 年度～2026 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度 7 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに、本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2023 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2027 年 3 月 31 日まで